

事業評価シート

番号 1340090 - 1

【1.基本情報】

事業名	浄化槽汚泥処理事業				
担当部名	環境部	担当課名	寺田プラント		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成17年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	各家庭及び事業所が、浄化槽汚泥設置者が法令に基づき実施した清掃において出た浄化槽汚泥の全量を処理する。	
事業の内容	搬入された浄化槽汚泥をスクリーンプレス脱水機において脱水し、脱水汚泥はトラックにより東部クリーンセンターへ搬出、分離液は希釈後下水道管へ放流する。	
事業の対象	何を	浄化槽汚泥
	誰に (対象者・対象者数)	家庭及び事業所(平成29年度浄化槽設置基数21,279基、合併浄化槽4,787基)
	どのくらい (具体的 数値で)	令和元年度浄化槽汚泥搬入量 44,235kℓ
平成30年度 (実施内容)	浄化槽汚泥搬入量 42,939.2kℓ 下水道投入量(希釈水含む) 74,857.7m ³ 脱水汚泥搬出量 992,520kg	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	47,424	1,560	41,210	1,300	41,210	1,300
嘱託職員	5,508	540	7,416	720	7,416	720
アルバイト	0		0		0	
計(A)	52,932	2,100	48,626	2,020	48,626	2,020

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		111,276	109,511	86,716
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	清掃関係業務	4,471	4,471	4,050
	保守点検業務	1,620	6,048	4,752
	積込運搬業務	18,392	18,392	18,392
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		111,276	109,511	86,716

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	164,208	158,137	135,342

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	164,208	158,137	135,342

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者			
受益者数	21,513	21,279	21,083
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	7,633	7,432	6,419

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	浄化槽汚泥搬入量		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	43,829	44,590	44,425
実績値	42,476	42,551	42,939

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	下水排水基準不適合件数		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	0	0	0
実績値	0	0	0

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	浄化槽汚泥(一般廃棄物)の処理は必要である。 廃棄物処理法による自治事務である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	浄化槽汚泥処理をしながら効率的な運営を行っている。 施設の規模から特に必要ない。(現状維持)
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	年間搬入量をすべて処理できている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	公共性の高い事業であるため現状維持が望ましい。